

環境サークル えこみつと



えこみつとって、どんなサークル？

えこみつとの歴史

1974年

京都大学の化学系の実験室が下水に有害な物質を流していたことが論争となつたことから、「学内環境問題・労災問題に取り組む学生の活動場所・外部との窓口」として京都大学安全センターが発足する。

1980年

論争が収束し、労災問題の運動拠点が他団体へ移行したことから、京都大学安全センターは「環境問題に取り組む学生たちの場」へと色合いを変えていく。この頃の安全センター内では、後述する環境ネットワーク4Rの会など様々な環境系学生団体が活動していた。

1986年

(京都大学安全センターとは別で) 京都大学リサイクル市実行委員会が成立する。

1994年

11月祭環境対策委員会の設置が認められる。

1997年

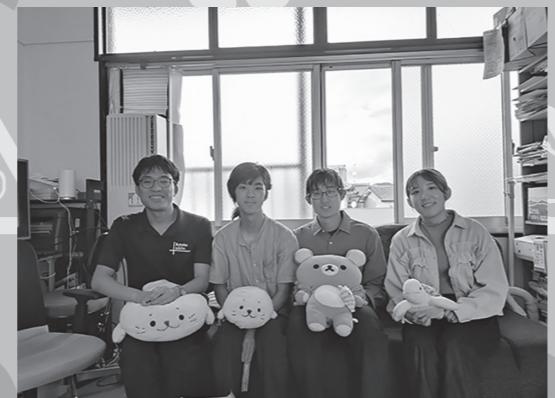
上記のサークルとは別で存在していたリサイクル社会をめざす会と11月祭環境対策委員会を母体に、環境サークルえこみつとが成立する。

2013年

えこみつとを含む環境系サークル会員の減少や安全センター内の兼サー率の上昇により、各サークルの活動を維持するために、環境ネットワーク4Rの会と京都大学リサイクル市実行委員会の活動がえこみつとに一本化される。

はみだし
すてーじ

11月の表紙について、『更級日記』を感じて好きです
⇒まさにその通りです！



▲今回取材に協力してくださいました、(左から) 窪田さん、広報担当の長谷川さん、会長の神谷さん、副会長の川原さん。

学内のサークルに取材し、その活動内容にせまる定番記事、「サークル万華鏡」。今回は「環境サークルえこみつと」さんを取材させていただいた。存在は知っていても活動内容はあまり知らない、という人も多いのではないだろうか。筆者も取材をおこなうまでは「N F(11月祭)でのごみ関連のことをすべて取りしきっている団体」としてしか認知していなかった。しかし、取材をしていくとそのほかにも様々な活動をおこなっていることが分かった。そんな縁の下の力持ち、「環境サークルえこみつと」の知られざる活動内容に、いざ密着！(まろ)

N Fでは何をやっているの？

全体説明会

各模擬店の代表者が一堂に会する全体説明会で、ごみの分別方法や、ごみ袋を持っていく場所と日時についての説明をおこないます。



ごみ箱の設置

N F期間中は、普段大学に置かれているごみ箱は大学による管理が停止するため、封鎖されます。よってN F期間中は代わりにえこみつとがごみ箱を設置します。



呼びかけ

各模擬店をまわって調理中に出るごみの分別をお願いします。ポスターでお客様にも分別を呼びかけます。



ごみ箱の見回り

大学内を周回して、ごみ箱が溢れないかを確認します。ごみ箱がいっぱいになっていたら、後述するごみの集積所に持っています。ただ、えこみつとの部員だけだと人数が足りないので各模擬店の人にもシフトを割り当てて交代でごみ箱の見張りをやってもらいます。



ごみ収集車到着！

N F期間中は毎朝5時頃にごみ収集車がやってきて、燃やごみとプラスチックごみが回収されます。段ボールなどの大型ごみは最終日に回収されます。また、割り箸はリサイクルのために製紙会社に回収されます。



ごみの集積

各模擬店や設置されたごみ箱から出たごみが吉田食堂の裏の集積所に集められます。ごみを持ってきた人をごみの種類別に誘導し、分別が十分にされていない場合は、持ってきた人と一緒に再分別をおこないます。

えこみつとの主な活動内容

- リサイクル市実行委員会 (1~4月)
いらなくなった家具や家電を主に新入生に譲り渡す「リサイクル市」を開催します。
- 11月祭環境対策委員会 (9~12月)
N Fで出る大量のごみの回収から業者への引き渡しを一手に担います。
- 例会 (週に1回)
毎週月曜日に主に上記2つのイベントに関する相談をおこないます。
- ごみ拾い (不定期)
鴨川を始めとして、銀閣寺や吉田神社の節分祭、祇園祭などにも赴いてごみ拾いをします。

活動人数: 約10人

活動場所: 亀井記念館 (ルネの裏)

はみだし
すてーじ

学部就職した同期が残業で泣いてる...
⇒私も残業でこの記事を書いており泣いています.....

えこみつとは、N F前後には11月祭環境対策委員会として活動する。N Fのごみ関連の諸々はすべてえこみつとが担っていると言っても過言ではない。えこみつとの活動がなければ、N F期間中の京大のごみ箱はすぐに溢れかえり、カオスな状態となっていることだろう。

(理・院 Benthos)
(表紙担当の方がそう言ってました; 編)

(工・院 だわさ)
(いえ、記事を書くこと自体は楽しいですよ! ; 編)

NFで出た 生ごみのゆくえ

生ごみのコンポストは、「有機農業研究会minori」の活動場所を借りて作られています。木の板で活動場所の一部を区切り、もともとある土壌に生ごみともみ殻、落ち葉を加えて定期的にシャベルで混ぜると、土壌中に酸素が供給され、微生物による生ごみの分解が進みます！

NFで出店する模擬店の数だけ、生ごみが出る。この大量の生ごみは、実はコンポストで堆肥化されている。生ごみまでも「リサイクル」する——彼らはまさにリサイクルのプロフェッショナルである。



今年度のNF ごみの集計結果を 大公開！！

(単位: kg)

分別種	前夜祭(20日)	本祭(21日)	本祭(22日)	本祭(23日)	本祭(24日)	合計
かん	2.5	16.8	32.1	42.5	62.6	156.5
びん	0	2.3	20.9	20.1	53.9	97.2
PET	1.6	31.2	59.1	78.0	117.3	287.2
割り箸	0.8	8.3	45.4	6.1	0	60.6
生ごみ	0	14.5	53.4	41.6	93.5	203.0
廃プラ	14.7	194.9	327.6	370.2	412.3	1319.7
燃えるごみ	20.5	238.4	401.8	508.5	788.0	1957.2
合計	40.1	506.4	940.3	1067.0	1527.6	4081.4

今年度は22日から24日が三連休だったため、ごみの量が例年より増加しました。基本的に休日は京大外部からもたくさん的人が訪れるので、平日と比べると全体的にごみの量がかなり多くなります。ただ、今年度は各模擬店の人々がみんな協力的で、喜んで手伝ってくれる人も多かったため、昨年度よりもごみの量がかなり増えたにも関わらずごみの処理時間は減ったそうです！

はみだし
すてーじ

民泊化で下宿消滅(泣)
→ぜひ我が編集部のBOXをお使いください

公式キャラクター ごみてる

ところで、この記事の至る所に登場しているこの謎めいたごみ袋は、えこみっと公式キャラクター「ごみてる」である。元々は上下逆さまで、てるてる坊主のような形であった。「ごみ」と「てるてる坊主」を掛け合わせて「ごみてる」である。

リサイクル市の流れ

はみだし
すてーじ

生協高い、マナーください
⇒懶りずに読者カードを出し続けましょう！

毎年4月の初めに開催される、「リサイクル市」。読者の方々の中にもお世話になったことがある人がいるのではないだろうか。このリサイクル市は、えこみっとの部員達が文字通り汗を流してあらゆる場所に飛びまわった上で成り立っているということをご存じただろうか？

広報

1月頃から立て看板や三角柱、SNSなどを用いて家具や家電を譲り渡してくれる人を探します。

お届け！

抽選が終わると4月初旬に抽選に当たった人に家具や家電をお届けします。このときもレンタカーを借りてえこみっとの部員が車を走らせます。



家具・家電集め

2月末から3月にかけて、譲り渡してくれる人から家具と家電を集めます。持ち運びができるものは指定の倉庫まで持ってきてもらいますが、冷蔵庫や洗濯機など持ち運びが困難なものはえこみっとの部員がレンタカーで家まで回収しに行きます。その大変さは引っ越し業者ながら。そのため、毎年ボランティアも募集しています！



リサイクル市

倉庫から家具と家電を運び出し、リサイクル市の会場である総人棟の地下1階に並べます。リサイクル市には毎年約200人が訪れ、すべての家具と家電において抽選がおこなわれます。この抽選システムもえこみっとの部員が作っています！



部員の皆さんに訊いてみた！

Q. どうしてえこみっとに入ろうと思ったのですか？

- A. 環境問題に取り組んでみたかったから。
- A. ごみ拾いが楽しそうだったから。
- A. 新歓でのごみ拾いのときに「偉いね」と声を掛けられ、やりがいを感じたから。
- A. 部室があり、居場所となるようなサークルに入りたかったから。
- A. やさしい人が多く、アットホームな雰囲気が自分に合ったから。



取材後、筆者もごみ拾いに参加させてもらった。この日はルネを出て南に進み、近衛通と鴨川沿いのごみを拾った。



Column



秋晴れの中、談笑しながらごみ拾いをするのはなかなか気分が良いものである。

(農・1 KK)
(マナーは分からぬけど、マナーは当たるかも；編)